

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1162号
2010年4月18日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英久子

◇4月の代祷・信施奉献先
▽エルサレム教区のため▽国際こども学校の働きのため▽在日外国人人権問題のため▽諸神学校のため

《奉献先から》

在日外国人人権問題のため

「外キ協」「外キ連」は市民運動との連帯や国際的なネットワークを通じ、在日韓国朝鮮人など植民地支配に起因する定住外国人や、グローバリズムによって増加した移住労働者の人権擁護に取り組んできました。しかし、日本生まれの外国籍者や無国籍者が生活苦を強いられ差別に傷つく現状は変わりません。「テロ対策」と称する指紋押捺制度も復活する他、北朝鮮系民

族学校への暴力事件も発生し、

説教 鈴木裕二司祭

「多文化共生社会」への困難な道のりは続いていきます。歴史を学び、小さな声に耳を傾ける姿勢を堅持しながら外国人住民基本法制定の運動を行っています。(立教大学チャプレン 司祭 香山洋人)

◆教役者レクイエム

4月21日(水) 10時半
主教座聖堂

主 教 座 聖 堂
▽司祭島田忠雄▽司祭木村信一

今週・来週の予定

4月18日~5月1日

- 18(日) 復活節第3主日
主教巡回
聖パトリック教会
牧師任命式
- 19(月) ハラスメント防止委員会
員会
- 20(火) 礼拝音楽委員会
多摩G牧師協議会
- 21(水) 教役者レクイエム
- 22(木) 財政委員会
- 23(金) 正義と平和協議会連
営委員会
- 25(日) 復活節第4主日
主教巡回
聖マルコ教会
- 26(月) フェスタ：礼拝部会
- 27(火) 銀座朝拝会
- 28(水) 教役者聖餐式
- 30(金) 教財務サービス委員会
山手G牧師協議会

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

5分遅れの始発バス。小学生をはじめ異業種常連から「今日も元気だな」との目顔で迎えられシルバー席に着く。京王線府中から今朝も佳人が乗り込み隣席に坐ってくればラッキー。遠い昔、洗足で山脇

べ物を主イエスの名によって感謝します」と唱え歌う子どもたち。恵み、祈り、感謝を基にして「園生活を楽しんだことを証されて」3月、15人が卒業していった。

とお下げ髪の女学生とダブる。幼稚園では息子のようなKとOのチャプレン、自称美女軍団の保育主任の団長とお嬢さん先生3人、元保護者でいま非常勤2人の先生に包まれてお仕事開始。

前 宏 岩 前 宏 司祭
毎日が私にとつて若い日であり、朝から逢い、会ってきた人びとみんなが今日が一番若く、神様の大きなみ手の中にあつて大事にされ、生かされているのだ。

9時開門を待ち受けてママチャリならぬ電動自転車3人乗り、手をつなぎ、駆けっこで『光の子』たちの登園。木の香漂う園舎、教会のおじい様シルバー隊設置の遊具でのお遊び。「神様——このお祈りを主イエス様のお名前を通しておささげします」、

《み手のなかで》

♪青春時代の真ん中で♪

時報の読者諸氏「神様のみ手の中で今日も良いことがありますように」『駄目だ?』『明日、あしたがあるさ』。

時は復活節。

(退職・聖公会八王子幼稚園園長)

◇人事

司祭 ランドル・ノーラン
聖オルバン教会牧師解任(3月6日付)

司祭 スコット・ウォーカー
聖オルバン教会臨時牧師任命(3月7日付)

司祭 神崎雄二 聖教主福祉会子
ヤブレン解任(3月31日付)

司祭 朴 美賢(バク ミヒヨ
ン) 聖教主福祉会子ヤブレン
任命(4月1日付)

信仰と生活委員会報告

(4月8日)

◇懇談会 「東京教区に求められる主教像」

5月8日(土) 13時〜16時

聖アンデレホール

東京教区に求められている主教像は？ 現状と課題をふまえ、それぞれの想いの分かち合いを…。 主催・東京教区主教選挙特別委員会

*宣教主事報告。

*各教会グループ・自主活動グループ等諸報告。

*信仰と生活委員交代に伴い新たに教区費分担金検討特別委員への推薦について協議。第一回は委員長が出席する。

*活動協力を要請承認(多摩教会グループ)。

*教区を超えて貢献が可能な、「子ども聖歌集」編纂に向けて各教会グループ宛に委員長名でそれぞれ教会が日曜学校で使用している聖歌の資料提出を要請する文書を作成する。

*信仰と生活委員会の目的と活動に基づいて、現状の認識を共有し、今期の活動について協議(継続)。

*その他。

▽一粒の麦の会@東京教区の教会巡りバス・ツアー 5月27日(木)、水戸聖ステパノ教会を訪問、聖餐式と懇親のときを過ごし、那珂湊お魚市場で買い物などを楽しむ企画。参加費5千円(バス代・昼食など)、集合は8時半新宿。申込締日5月6日(水) 定員50名。詳細照会 090(6538) 0852(世話人・足立征三郎)。

▽BSA研修旅行「長崎・平戸へ」 5月18日(火)〜20日(木)。先着順25名。照会 同会 03(3436) 4325。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】46

福音宣教にインターネットの活用を

インターネットの普及はめざましく、多くの人がインターネットを通して情報を入手するようになっていきます。東京教区でも早くからホームページを通しての情報提供を行ってきましたし、充実したホームページをもつ教会も増えてきました。そのため今日では、初めて教会に来る人の多くが、教区や教会のホームページを見てから教会を訪ねるようになっていきます。

現在の教区・教会のホームページは、このように十分有効に活用されているのですが、その内容は、主として教会に行こうとしている人に必要な情報を提

供するものになっていて、教会の外にいる人、教会やキリスト教に関心のない人に対してメッセージを発信するものにはなっていない。教会やキリスト教に関心のない人に向けてメッセージを発信する際には、それらの人々(現代社会を構成するふうの人たち)がもつ「キリスト教」や「教会」のイメージに沿って、彼・彼女らが受け入れ可能なかたちでメッセージを発信することが必要です。

現在の社会において、深刻な悩みをかかえている人や漠然とした不安感・不全感に悩んでいる人は少なくありません。このような人たちに福音のメッセージを発信し続けることは、教会に課された重要な使命です。こ

の使命を果たそうとするとき、インターネットは有効な発信の手段となります。ホームページの制作・運用のための経費は、双方向性を求めないかぎり安価で、教区単位で取り組むのであれば負担できない額ではありません。今後、教区の働きとして積極的に推し進めるべきであると思われまます。

教区の「インターネット活用検討特別委員会」は、昨年末で2年間の任務を終え、3月の教区会に報告書を提出しました。委員会の検討結果は教財務サービスクomiteeに引き継がれ、具体化に向けての検討が続けられるものと期待されます。

インターネット活用検討特別委員会
委員長 古谷野 亘